

# 施策分析シート（令和5年度）

No1

<b>施策名</b>	国内・海外都市との交流の推進	<b>施策No</b>	09-02	<b>部課名</b>	地域文化スポーツ部文化交流推進課
<b>関連部課名</b>	総務企画部総務企画課				
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	V	文化創造都市		
	<b>政策</b>	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進		

**目的** 全国各地域の自治体と幅広い交流を進め、より豊かな区民生活の実現を目指すとともに、相互の都市の活性化を図る。  
海外都市との国際的な交流を深め、多文化が共生する魅力あるまちを目指す。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		2年度	3年度	4年度	
①	地域への愛着	-	2.92	2.87	荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？
②	文化的寛容性	-	2.66	2.66	お住まいの地域に、文化や言語が異なる人々への思いやりや寛容さがあると感じますか？
③					
④					

  

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		2年度	3年度	4年度	5年度見込み	目標値(8年度)	
①	国内交流都市との交流事業参加者数(人)	0	82	70	100	150	国内交流都市ツアー参加者数
②	国内交流都市との連携事業数(事業)	15	15	30	30	30	各課で実施している国内交流都市との連携事業数
③	通訳ボランティア登録数(人)	49	70	80	85	100	通訳ボランティアへの登録者数
④	海外都市交流事業参加者数(人)	6	6	49	260	320	区民と外国人が相互交流する事業の合計
⑤							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額	3年度		4年度	差額		
行政費用	給与関係費	33,454	34,961	1,507	地方税等	0	0	0	
	物件費	1,797	1,996	199	国庫支出金	130	0	▲130	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	2,310	2,834	524	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	753	710	▲43	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	883	710	▲173	
	賞与・退職給与引当金繰入額	3,861	1,550	▲2,311	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲40,539	▲40,631	▲92	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	41,422	41,341	▲81	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲40,539	▲40,631	▲92	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲40,539	▲40,631	▲92	

貸借対照表	勘定科目				流動負債	勘定科目			
	3年度	4年度	差額	3年度		4年度	差額		
流動資産	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	1,540	1,471	▲69	
固定資産	有形固定資産	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	
	土地	0	0	0	固定負債	21,229	15,520	▲5,709	
	建物	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	建物減価償却累計額	0	0	0	退職給与引当金	21,229	15,520	▲5,709	
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	22,769	16,991	▲5,778	
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	▲22,769	▲16,991	5,778	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	▲22,769	▲16,991	5,778		
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0		
資産の部合計	0	0	0						

### 財務諸表に関する特措事項等

○行政費用として、物件費及び補助費等の割合が高くなっている。内訳としては、国内3年度に受けた国内都市交流事業の補助金の返還額及びR4年度事業が再開したことに伴う国際交流協会への補助金増である。前年度と比較して、給与関係費の増加は、令和3年度職員が兼務していたことに伴うものである。  
○行政収入のその他については、特別区長会からの補助金である。

## 施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○国内都市交流及び特別区全国連携プロジェクトでは、感染症の影響により中止してきた事業を再開する方向で各交流都市と調整を図っている。</p> <p>○海外都市との交流についても、感染症の影響により中断していたが、オーストリア共和国ウィーン市ドナウシュタット区、韓国済州市及び中国大連市中山区の3都市の状況及び意向を踏まえて事業を再開していく。</p> <p>○区内の在住外国人支援については、ボランティアの協力のもと、日本語教室・日本語サロンを運営するとともに、日本人と外国人の相互交流事業や、防災訓練など、各種事業を充実させていく。</p>
課題	<p>○国内交流都市、特別区全国連携プロジェクトや幸せリーグ等を通じて、全国各地域の自治体との交流が増えてきた中で、実施した新たなコロナ禍での交流方法の活用とともに、お互いに有益な交流を深めていく必要がある。</p> <p>○海外都市交流については、中断していた期間に変化した社会情勢など情報収集のため、現地とより密に情報交換を行う必要がある。</p> <p>○日本語教室・サロンなど、在住外国人支援事業について、より多くの希望者を受け入れられるよう事業内容を検討する。</p>
今後の方向性	<p>○「特別区全国連携プロジェクト」のつながりを活用し、事業の実施内容等について検討しつつ、区内でのイベント開催や地域住民相互の交流等を通じて、全国各地域と区内の産業振興や観光振興、地域の活性化等を推進する。</p> <p>○「幸せリーグ」における自治体職員同士の交流を促進し、共通する行政課題についての情報交換や先進事例を取り入れ、新たな施策の立案につなげ、区民サービスの一層の向上を図る。</p> <p>○友好都市や幸せリーグ加入自治体等と災害時相互応援協定を締結し、物資の提供にとどまらず、人の応援、被災者の受入など、様々な助け合いの関係を構築する。</p> <p>○国内交流都市との交流事業については、交流都市の状況や意向を踏まえ、区民にとってメリットのある内容を検討する。</p> <p>○海外都市との交流事業再開にあたり、より現地と密に情報交換を行うとともに、交流事業について、国際交流協会のHPやSNSを活用し、広く周知する。</p> <p>○日本語教室・サロンは、より多くの外国人を受け入れられるよう関係者と協議を進めるとともに、日本人と外国人の相互交流事業の充実を図る。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
5年度	6年度	
重点的に推進	重点的に推進	国内外の交流都市の地域特性を活かし区民主体の幅広い交流を行うことに加え、区内在住外国人の支援や交流の充実を図る。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		3年度	4年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
特別区全国連携プロジェクト	01-01-10	3,513	3,119	678	630	推進	推進	荒川区を含む東京、全国各地域の持続的な発展、住民の生活の質の維持・向上が期待できるため、推進する。
国内都市交流事業	05-01-03	14,844	14,643	727	1,191	重点的に推進	重点的に推進	区民・交流都市相互にメリットがある交流事業を実施することにより、荒川区の魅力と活力を高め、より豊かな区民生活の実現を目指すとともに、災害時における相互応援強化を図るために重点的に推進する。
国際交流協会補助	05-01-04	11,386	14,201	2,310	2,603	重点的に推進	重点的に推進	区民主体の国際理解・交流の推進母体として支援する必要があるとともに、在住外国人支援事業を重点的に推進する。
海外都市交流事業	05-01-05	11,678	9,378	8,429	8,439	推進	推進	海外友好都市との交流は国際理解や文化交流のために大きく貢献する事業であり、対面での交流を中心として相互の交流実施を推進する。
合 計		41,421	41,341	12,144	12,863			